



ご あ い さ つ

代表取締役社長 位 高 光 司

新年明けましておめでとうございます。

皆様方には、お健やかに新春を迎えられたことと、心からお慶び申し上げます。

新春の年頭に「日新電機技報」を発行するに当たりまして、一言ごあいさつ申し上げます。

20世紀が終わり、いよいよ21世紀という新しい世紀に入りました。

ここで20世紀を少し振り返ってみたいと思います。20世紀は電気・交通・バイオをはじめ技術革新が進み大きく発展した時代であったと言えます。

とりわけ、20世紀末の数年間には世界的な規模でIT革命が起き、私たちの生活や文化、あるいはビジネスなど世の中のシステムが大きく変化しました。21世紀もIT関連技術はますます変化・発展していくことでしょう。

こういう中であって、重電機器を中心とする当社を取り巻く経営環境は、引き続き厳しい情勢が続くものと思われませんが、過去から受け継いできた技術をベースに、新しい技術・製品を開発し、社会の発展に貢献する所存であります。最近の具体例としては、ネットセキュリティを**セキュリティソリューション**としてとらえ、またエネルギー分野では、新エネルギー・分散エネルギー、そして電力の品質改善を**エネルギーソリューション**としてとらえた事業展開をはかるほか、**ビーム・プラズマ**技術応用の新しい分野につきましても事業の確立を急いでおります。

当社はまた、環境問題の改善にも積極的に取り組んでおり、総合的にお客様に満足していただけるシステムや製品作りに努力を続けております。

妙心寺の住職からいただいた表紙の書にもありますように、これからは永い目で見次社会につなげていくべきものは何か、それに必要な技術は何かを探求していき、人間的で豊かな社会を築けるよう努力してまいります。

今回、ここに、2000年の成果を取りまとめた技報をお届けいたしますので、皆様方の忌憚のないご意見、ご指導をいただければ幸甚に存じます。

永年培ってまいりました技術力に立脚して、さらなる研鑽を重ね、皆様方のお役に立つシステムや製品をご提供してまいり所存でございます。

何卒、本年も倍旧のご指導、ご支援の程、重ねてお願い申し上げます。

2001年 元旦